

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成25年12月20日

リコール届出番号	3278	リコール開始日	平成25年12月21日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 伊東 孝紳		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-112010	
不具合の部位（部品名）	動力伝達装置（自動変速機制御コンピュータ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>1) 7速DCT*型自動変速機を搭載した車両において、エンジン制御ユニット（ECU）のプログラムが不適切なため、低車速でアクセルをオフにした際、エンジンにかかるモータの充電負荷よりエンジン出力が低いため、エンジン回転数が低下することがある。そのため、エンジンの回転が不安定になりエンストするおそれがある。（停止後の再起動及び走行は可能）</p> <p>2) 7速DCT型自動変速機を搭載した車両において、トランスミッションドライブユニット（TDU）のプログラムが不適切なため、</p> <p>① 車両起動時にギヤチェンジ用アクチュエータの出力を監視している2種類のIC間でクロック精度に差があり、起動準備が完了しているにもかかわらず未完了と誤判断することがある。そのため、メータディスプレイのトランスミッション警告灯が点滅し、「トランスミッション点検」の表示が点灯するとともに、駐車状態から起動しなくなるおそれがある。</p> <p>② 車両起動時にプログラムが立ち上がる際、起動に必要な一部データを消去してしまうことがある。そのため、パワースイッチを押しても駐車状態から起動しなくなるおそれがある。</p> <p>3) 7速DCT型自動変速機を搭載した車両において、ハイドロスタティッククラッチアクチュエータ（HCA）のプログラムが不適切なため、クラッチの締結力を制御するピストンの移動量を検出するセンサが移動量を誤検知することがある。そのため、HCA内部異常と判断し、メータディスプレイのトランスミッション警告灯が点滅し、「トランスミッション点検」の表示が点灯するとともに、発進や後退ができなくなるおそれがある。</p> <p>*DCT型：デュアルクラッチトランスミッション型</p>			
改善措置の内容	<p>1) 全車両、エンジン制御ユニット（ECU）のプログラムを修正する。</p> <p>2) 全車両、トランスミッションドライブユニット（TDU）のプログラムを修正する。</p> <p>3) 全車両、ハイドロスタティッククラッチアクチュエータ（HCA）のプログラムを修正する。</p>			
不具合件数	1) 18件 2) - ① 55件 2) - ② 20件 3) 269件		事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。			

自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.3278のステッカーを貼付する。
-------------------------------	--

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	DAA-GP5	「フィット」	GP5-1000012～GP5-1010632 平成25年7月17日～平成25年11月6日	10,378	ハイブリッド車
			GP5-3000006～GP5-3026418 平成25年9月23日～平成25年12月3日	25,609	
			GP5-5000003～GP5-5000102 平成25年10月9日～平成25年11月29日	100	
			GP5-8000001～GP5-8000013 平成25年9月9日～平成25年10月8日	13	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成25年7月17日～平成25年12月3日	(計36,100台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。